



外部評価委員による埋蔵文化財センターの視察

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、志布志市教育委員会では5名の学識経験者で構成する外部評価委員会を7月9日に開催し、平成24年度の教育委員会の主な事務事業について、点検及び評価を行い、報告書を議会に提出しましたので、その概要をお知らせします。

教育委員会では、この点検・評価をもとに、これまで以上に効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

## 教育委員会委員の活動状況

### ◆目的

毎月の定例会、教育委員研修会、学校訪問、学校経営報告会、入学式、卒業式、その他各種行事への出席。

### ◆反省及び評価点

教育委員会制度の形骸化が指摘されるなか、政権が変わり教育改革の議論が加速しようとしている。委員独自の学校訪問や声かけ運動、交通安全立哨等の活動をとおして、地域との交流や学校の現状把握等に、さらに力を入れたい。

### ◆外部評価委員の意見

本市教育委員には、引き続き地域との交流や学校の現状把握等に力を注いでいただくとともに、教育の原点は家庭であるという認識のもと、今後とも本市の教育行政の推進に一層努力されたい。

## 志布志地区中学校統合準備委員会運営事業

### ◆目的

学校再編基本計画及び第1次実施計画の円滑な推進を図り、もって学校教育の推進及び教育環境の向上に資する。

### ◆反省及び評価点

7つの専門部会のメンバーに、関係小・中学校の教職員、保護者代表、地域代表を選出したことにより、協議内容も充実したものとなり、かつ、円滑に行われ、6専門部会については、いずれも年度内に協議が終了した。

### ◆外部評価委員の意見

学校再編基本計画（第1次実施計画）が円滑に推進され、本市の教育環境が充実したものになるよう努力されたい。また、田之浦中、出水中の生徒は人数は少ないけれども、同じ志布志の中学生ということで、温かく迎えてもらいたい。

## 教職員住宅維持管理事業

### ◆目的

教職員の住環境の整備を行うことで、教職員が安全・安心して教育活動に専念できる環境を作る。

### ◆反省及び評価点

平成24年度は、有明小中学校校長住宅の建替えが完了した。また平成25年度は、原田小学校校長住宅の建替えを予定している。今後は、住宅設計画に基づき、確実に事業を進めていく必要がある。

### ◆外部評価委員の意見

学校経営の責任者である学校管理職（校長・教頭）は、地域においてとても頼られる存在となっているので、住環境整備が年次的に速やかに改善され、教育活動に専念できるようにしてもらいたい。

## 学力向上推進事業

### ◆目的

児童生徒の学力の実態を的確に把握するとともに、学力向上に向けた対策を講じ、確かな学力の向上・定着を図る。

### ◆反省及び評価点

市内全ての小・中学校で国及び県の学力調査を実施することができ、その学力調査の結果を受けて学力向上推進協議会を開催し、結果の分析並びに今後の対策を講じることができた。

### ◆外部評価委員の意見

各種学力調査において、学校間に格差がある。また、同一校内においても学年間または教科間に格差がある。人間として「生きる力」の源となる学力は、不可欠な要件であることから日々その向上に努めてもらいたい。また、学校間格差、同一校での学年間格差があるとのことなので、その解消に努めてもらいたい。

## 生徒指導推進事業

### ◆目的

学校・家庭・地域・関係機関等が連携を図り、よりよい生徒指導態勢を確立する。また、いじめ問題の早期発見・早期解決を図るとともに、新たな不登校生の出現の抑止に取り組む。

### ◆反省及び評価点

長期休業における共通指導項目等を確認し、組織的に指導体制を整えることができた。

関係機関等と連携を図ることで、周囲との協力体制ができた。

### ◆外部評価委員の意見

思いもよらないことで子どもは傷ついたりすることがあるので、総合評価でいじめや不登校はすべての児童生徒に起こりうる問題であると捉えているところが良かったと思う。

## 体力向上推進事業

### ◆目的

児童生徒の体力の実態を把握し、体力の向上に努めるとともに、教師の体育（保健体育）の授業における指導力向上を図る。

### ◆反省及び評価点

体力・運動能力調査については、市内の全小・中学校で実施し、分析をもとに一校一運動の見直し等、体力向上計画の見直しが図られた。

中学校学習指導要領の完全実施により、中学校武道（剣道3校、柔道4校）が全ての中学校において滞りなく実施された。

### ◆外部評価委員の意見

いろいろなものが豊富にある現在の子育てにおいて「不足の不足」という問題がある。今一番大事なのは我慢する心を育てることだと思ふ。知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成は、公教育の根幹であることを認識され、日々努力してほしい。

## 志布志市ジュニアリーダークラブ支援事業

### ◆目的

志布志市内に在住する中学1年生から高校3年生までで構成された会員が、地域子ども会の育成充実を図るとともに、会員自身の資質の向上を図るための研修会等に参加する。

### ◆反省及び評価点

年間の事業計画に基づき、研修やボランティア活動を計画どおり実施できたが、事業ごとに参加人数にばらつきがあった。また、年々クラブ員として入会する生徒数が減少傾向にある。

### ◆外部評価委員の意見

将来の志布志市を担うリーダー育成の場としてのクラブ活動の必要性は高いとあるが、まさにそのとおりだと思ふ。市の様々なイベントに参加しているところをよく見かけるので、存続してほしい存在だと思ふ。今後ともジュニアリーダークラブ員の増加に努めてもらいたい。

## 自主文化事業

### ◆目的

コンサート公演、文化講演会、ミュージカル公演、落語寄席等の開催により地域の文化振興や文化意識の高揚を図り、地域の活性化と市民生活に潤いを与える。

### ◆反省及び評価点

秋季に事業が連続したため、公演によっては集客率が伸びないものもあった。幅広いバランスのとれた事業選考と無理のない日程設定に努めた。

### ◆外部評価委員の意見

本市の自主文化事業は鹿児島市と同じく質の高いものであるとの評価をいただいている。市民が等しく期待している事業なので、今後とも著名な芸術家等の招へいに努めていただき、文化のまち志布志を一層推進してもらいたい。

## 親子の自然科学教室開催事業

### ◆目的

夏休み期間中に小・中学生とその親を対象に、親子で自然に触れることで、地域の自然科学分野の啓発を図る。

### ◆反省及び評価点

平成24年度実施に当たり、植物採集教室の参加者が比較的少なかった。夏休みが始まってすぐの平日に行ったことにより、保護者の都合がつかなかったことが考えられるため、平成25年度は日曜日の昼実施を検討している。

### ◆外部評価委員の意見

情報機器が発達して便利になった反面、親子のふれあいや地域でのふれあいが希薄な時代であり、自然愛護の必要性がある現代こそ、この事業を充実させてほしい。